



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社エムアップ 上場取引所 東
 コード番号 3661 URL http://www.m-up.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 美藤宏一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務経理部長 (氏名) 藤池 季樹 TEL 03-5467-7125
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,793	9.4	158	△15.9	178	△7.0	105	△11.5
29年3月期第2四半期	1,639	△7.6	187	△25.9	192	△24.8	119	△40.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 123百万円 (35.5%) 29年3月期第2四半期 90百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	14.16	14.10
29年3月期第2四半期	16.04	16.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	3,029	2,189	71.2	288.71
29年3月期	3,069	2,227	71.5	293.99

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 2,157百万円 29年3月期 2,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	△13.8	470	10.3	470	0.6	310	0.0	41.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※当社は、予算編成を通期ベースで行っており、業績の進捗管理およびその評価は通期でのみ実施しているため、第2四半期（累計）期間における業績予想については、開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,471,500株	29年3月期	7,462,400株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	86株	29年3月期	86株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	7,466,441株	29年3月期2Q	7,449,914株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に、所得環境が好転し、それに伴って個人消費も持ち直しの動きを見せるなど、回復基調が続いております。今後についても緩やかな回復が期待されておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動による影響など、先行きには依然として不透明感も残っております。

当社グループを取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の普及と利用時間の増加によるインターネットのモバイル化が進んでおり、今後も安定的な成長と拡大が期待されております。

平成28年における情報通信機器の保有状況は、スマートフォンが71.8%（前年同期比0.2ポイント減）、タブレット端末が34.4%（前年同期比1.1ポイント増）と普及が進み、インターネットの利用状況を見ても、スマートフォンからのインターネット利用率が58%（前年同期比4ポイント増）と増加しております。また、スマートフォンやタブレット端末の利用増加に伴い、モバイルコンテンツの市場規模は、平成28年には全体で1兆8,757億円（前年同期比20.0%増）となり、なお拡大が続いております（出所：いずれも総務省「平成29年版情報通信白書」）。

音楽やアーティスト関連の市場動向といたしましては、平成29年上半年（1月から6月まで）において、音楽ソフト（オーディオレコード及び音楽ビデオ合計）の生産金額は116,502百万円（前年同期比5.6%減）と減少傾向が続いておりますが（出所：一般社団法人日本レコード協会）、コンサートの市場規模は129,709百万円（前年同期比15.7%増）と拡大しており（出所：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会）、市場全体としては堅調に推移しております。

このような外部環境の中、当社グループでは、アーティストやタレント、声優、アニメまでの幅広いジャンルにおいて、ファンクラブサイトやファンメールをはじめ、キャラクター、スタンプ、音楽、電子書籍といった多岐にわたるデジタルコンテンツの配信や、eコマースに至るまでを複合的に展開し、サイトや各事業セグメント間でのシナジー効果を発揮させることによって、事業基盤の拡大と多様化を進めてまいりました。

また、当第2四半期連結累計期間におきましては、新たな取り組みとしてアイドルグループとのコラボレーション公式アプリの配信を開始いたしました。今後につきましても、当社グループの成長へ向けて、新規事業やサービスの開発とその育成に注力してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,793百万円（前年同期比9.4%増）となりました。人員の採用や新規事業への先行投資などを実施したことから、営業利益は158百万円（前年同期比15.9%減）、経常利益は178百万円（前年同期比7.0%減）となりました。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は105百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

セグメントごとの概要は、以下のとおりであります。

①携帯コンテンツ配信事業

携帯コンテンツ配信事業につきましては、アーティストや声優、タレントのファンクラブサイトの新規開設や、他社からのサイト運営の移管など、新たな有料会員の獲得を進めてまいりました。

また、既存のファンクラブサイトにおいても、ファンメールやWEBラジオ機能等を実装し、他社との差別化とサイトの高付加価値化を進めることで、事業の基盤を強化してまいりました。

新たな取り組みといたしましては、テレビ局が提供するアニメ動画見放題サービスの開発や、タテ型アニメ視聴アプリのリリースなど、これまでのコンテンツ配信で培った経験やノウハウを活用し、動画配信分野の強化、開拓を進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における携帯コンテンツ配信事業の売上高は1,439百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は393百万円(前年同期比11.6%増)となりました。

②PCコンテンツ配信事業

PCコンテンツ配信事業につきましては、アーティスト及びタレント等のPC向け有料ファンクラブサイトの運営を行ってまいりました。また、将来の携帯コンテンツ配信事業での有料化を見据え、アーティストやタレントのオフィシャルサイトの受託制作なども実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるPCコンテンツ配信事業の売上高は77百万円(前年同期比11.1%減)、セグメント損失は6百万円(前年同期は9百万円のセグメント利益)となりました。

③eコマース事業

eコマース事業につきましては、CD、DVD及びブルーレイといった音楽映像商品と、それに関連するアーティストグッズを中心に、大手レコード会社との提携によるレコード会社の公式販売サイトの運営管理と当社による直販の両面から事業を展開してまいりました。

この他、アパレル商品の委託販売なども実施してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるeコマース事業の売上高は87百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は7百万円(前年同期比21.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は3,029百万円(前連結会計年度末比1.3%減)となりました。

流動資産は2,016百万円(同4.4%減)となりました。主な内訳は現金及び預金1,245百万円(同6.2%増)、受取手形及び売掛金588百万円(同20.6%減)となっております。

固定資産は1,012百万円(同5.4%増)となりました。主な内訳は有形固定資産287百万円(同2.4%増)、投資有価証券464百万円(同5.1%増)となっております。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は798百万円(同1.1%減)となりました。主な内訳は買掛金400百万円(同9.9%減)であります。

固定負債は41百万円(同21.3%増)となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の合計は2,189百万円(同1.7%減)となりました。主な内訳は資本金247百万円(同0.8%増)、資本剰余金270百万円(同0.7%増)、利益剰余金1,609百万円(同3.5%減)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後における我が国の経済は、雇用及び所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しを見せるなど、緩やかに回復が続くと期待される一方で、新興国を中心とした海外景気の先行きや政策の不確実性、金融資本市場の変動による影響も懸念されております。

当社の属するインターネット関連市場につきましては、スマートフォンの利用が定着し、それに伴ってスマートフォン向けコンテンツサービスの市場が大きく拡大しており、モバイルビジネスを取り巻く環境は日々変化しております。

こうした事業環境の中、当社は技術及び市場動向の影響を受けにくい、ファンクラブサイトを事業の軸に据え、新規アーティスト等の獲得とそのファンクラブサイトの開設、既存サイトへのファンメールやWEBラジオといった新サービスの追加によって、新規有料会員の獲得と既存会員の維持、拡大を進めております。

また、スマートフォン向けの動画など新たな事業領域の開拓を進めております。加えて、子会社を通じた他社との事業提携、並びに新規事業の開発にも取り組んでおります。子会社においては、アイドルグループとのコラボレーション公式アプリの配信を開始するなど成果が上がりつつあり、今後についても、引き続きアプリ開発等にも注力してまいります。

当社といたしましては、子会社を通じて新規事業の開発を進めるなど、これまで以上に迅速な事業展開を図っていく方針であります。しかしながら、スマートフォン向けコンテンツ市場は、技術革新やサービスの流行と陳腐化の流れが早く、それらを的確に予測することは困難であり、また子会社を通じた新規事業はこれまで当社が手掛けてこなかった新規分野であることから、不確定な要素も多く含まれます。そのため、新規サイト及び子会社を通じた新規事業に関しましては保守的な見通しとしており、事業の立ち上がりの状況などを見極め、業績予想はあらためて見直していく方針です。

費用面では、販売に比例し増減するロイヤリティ等や、採用の強化に伴う人材関連費用の増加、子会社における新規事業への先行投資などを見込んでおります。

以上により、今期（平成30年3月期）の見通しについては、平成29年5月15日に開示しました業績予想に変更はありません。

売上高3,200百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益470百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益470百万円（前年同期比0.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益310百万円（前年同期比0.0%）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,650	1,245,205
受取手形及び売掛金	741,322	588,690
商品	11,626	21,289
仕掛品	1,800	3,920
その他	182,158	158,338
貸倒引当金	△930	△781
流動資産合計	2,108,626	2,016,662
固定資産		
有形固定資産	281,002	287,844
無形固定資産		
のれん	18,817	10,132
その他	59,016	70,208
無形固定資産合計	77,834	80,341
投資その他の資産		
投資有価証券	441,938	464,424
その他	222,067	241,403
貸倒引当金	△62,311	△61,258
投資その他の資産合計	601,694	644,569
固定資産合計	960,530	1,012,755
資産合計	3,069,157	3,029,418
負債の部		
流動負債		
買掛金	444,464	400,422
未払法人税等	93,086	73,798
賞与引当金	13,859	7,399
役員賞与引当金	30,000	15,000
その他	226,036	301,582
流動負債合計	807,446	798,204
固定負債		
資産除去債務	18,612	18,612
その他	15,812	23,141
固定負債合計	34,425	41,753
負債合計	841,872	839,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	245,129	247,015
資本剰余金	268,233	270,119
利益剰余金	1,668,091	1,609,680
自己株式	△48	△48
株主資本合計	2,181,406	2,126,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,407	30,330
その他の包括利益累計額合計	12,407	30,330
新株予約権	18,648	17,983
非支配株主持分	14,823	14,379
純資産合計	2,227,285	2,189,461
負債純資産合計	3,069,157	3,029,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,639,578	1,793,282
売上原価	1,047,679	1,209,974
売上総利益	591,899	583,308
販売費及び一般管理費	403,933	425,191
営業利益	187,965	158,116
営業外収益		
投資有価証券売却益	-	15,488
為替差益	-	67
貸倒引当金戻入額	1,388	1,053
受取賃貸料	1,433	2,427
商標権譲渡益	2,000	-
その他	132	1,490
営業外収益合計	4,954	20,527
営業外費用		
為替差損	438	-
投資有価証券売却損	307	-
営業外費用合計	746	-
経常利益	192,173	178,644
特別利益		
新株予約権戻入益	-	756
特別利益合計	-	756
税金等調整前四半期純利益	192,173	179,400
法人税、住民税及び事業税	69,649	67,078
法人税等調整額	6,349	7,005
法人税等合計	75,998	74,084
四半期純利益	116,175	105,315
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,320	△443
親会社株主に帰属する四半期純利益	119,496	105,759

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	116,175	105,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,257	17,922
その他の包括利益合計	△25,257	17,922
四半期包括利益	90,917	123,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,238	123,682
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,320	△443

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	192,173	179,400
減価償却費	15,276	19,126
のれん償却額	8,684	8,684
為替差損益(△は益)	438	△67
投資有価証券売却損益(△は益)	307	△15,488
新株予約権戻入益	-	△756
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,631	△1,203
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,918	△6,459
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	△15,000
売上債権の増減額(△は増加)	85,228	224,878
たな卸資産の増減額(△は増加)	627	△11,783
仕入債務の増減額(△は減少)	16,744	△112,091
未払金の増減額(△は減少)	△8,380	6,241
前受金の増減額(△は減少)	△1,107	32,032
その他	△19,945	31,949
小計	249,498	339,462
利息の受取額	42	65
法人税等の支払額	△28,462	△83,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	221,079	256,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△70,245	△104,608
投資有価証券の売却による収入	25,107	123,533
有形固定資産の取得による支出	-	△13,592
無形固定資産の取得による支出	△17,345	△7,500
貸付金の回収による収入	6,020	1,778
敷金の差入による支出	△33,485	-
出資金の払込による支出	-	△27,000
その他	△300	2,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,248	△24,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△162,991	△163,462
非支配株主からの払込みによる収入	10,000	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	3,772
その他	-	91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,991	△159,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△438	67
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,598	72,555
現金及び現金同等物の期首残高	751,759	1,172,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 729,160	※ 1,245,205

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益 計算書計上 額 (注)3
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテンツ 配信事業	eコマース 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,450,774	86,918	83,085	1,620,778	18,799	1,639,578	-	1,639,578
セグメント間の 内部 売上高 又は振 替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	1,450,774	86,918	83,085	1,620,778	18,799	1,639,578	-	1,639,578
セグメン ト利益又 は損失 (△)	352,346	9,893	6,077	368,316	△25,529	342,787	△154,821	187,965

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△154,821千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益 計算書計上 額 (注)3
	携帯 コンテンツ 配信事業	PC コンテンツ 配信事業	eコマース 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,439,433	77,299	87,948	1,604,680	188,601	1,793,282	-	1,793,282
セグメント間の 内部 売上高 又は振 替高	-	-	-	-	2,464	2,464	△2,464	-
計	1,439,433	77,299	87,948	1,604,680	191,066	1,795,746	△2,464	1,793,282
セグメン ト利益又 は損失 (△)	393,207	△6,910	7,366	393,663	△51,283	342,380	△184,264	158,116

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△184,264千円には、セグメント間取引消去△2,464千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,799千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。